

第3次

飯豊町地域福祉計画 飯豊町地域福祉活動計画



2025年度～2029年度(5ヶ年計画) / 2025年3月策定

飯 豊 町

社会福祉
法 人

飯豊町社会福祉協議会

目次

あいさつ	飯豊町長	嵐 正 人
	飯豊町社会福祉協議会会長	高橋 弘之
	第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会委員長	嘉藤 正憲

第1章 計画策定にあたって	5
1 計画策定の趣旨.....	6
2 計画の位置づけ.....	6
(1) 地域福祉計画.....	7
(2) 地域福祉活動計画.....	8
3 計画の期間.....	10
4 計画の策定方法.....	11
(1) 策定委員会・作業部会（ワーキンググループ）.....	11
(2) 施策内容.....	11
(3) 体系等.....	11
(4) 策定イメージ.....	12
第2章 飯豊町の現状と取り組み	13
1 飯豊町の現状と推移.....	14
2 これまでの計画の取り組み.....	23
3 新しい計画策定に向けた課題整理.....	26
第3章 計画の基本的な考え方	29
1 基本理念.....	30
2 基本目標.....	31
3 計画の体系.....	32
4 施策体系.....	33
5 地域福祉推進のために必要な圏域の考え方.....	37
第4章 施策の展開・取り組み内容	39
1 思いやりの心と福祉を支える人づくり.....	40
(施策1) 福祉意識の醸成.....	40
(施策2) 社会福祉分野及び地域活動の担い手となる人材育成.....	42
(施策3) ボランティア等の社会福祉活動支援.....	45
2 安心を高める仕組みとサービスの基盤づくり.....	47
(施策1) 地域の居場所・活躍の場づくり.....	47
(施策2) 地域活動団体や関係機関、行政等の多様な主体の連携・協働の仕組みづくり.....	49

3	住み続けたいと思える生活環境づくり.....	54
	（施策1）地域住民に対する相談支援体制の整備.....	54
	（施策2）必要な支援を適切に利用できる仕組みの確立.....	59
	（施策3）権利擁護や成年後見制度の推進.....	66
	（施策4）防犯・防災に強いまちづくりの推進.....	69
4	支え合い・助け合う関係づくり.....	72
	（施策1）保健・医療・福祉が連携した総合的なマネジメントの推進.....	72
	（施策2）見守り・支援体制の充実.....	76
	（施策3）複合化した地域課題を解決するための体制づくり.....	81

第5章 具体的な取り組み..... 83

	（具体的な取り組み1）学校と連携して「福祉教育」を推進する.....	84
	（具体的な取り組み2）「除雪支援体制」を充実させる.....	86
	（具体的な取り組み3）「無料職業紹介事業」による困窮者等への就労支援.....	88
	（具体的な取り組み4）デマンド交通システムの利用を拡大する.....	89
	（具体的な取り組み5）「成年後見制度」の利用を促進する.....	90
	（具体的な取り組み6）地域に「子どもの居場所」をつくる.....	91

第6章 計画の推進にむけて..... 93

1	協働による計画の推進.....	94
	（1）住民の役割.....	94
	（2）住民自治組織の役割.....	94
	（3）事業者の役割.....	95
	（4）社会福祉協議会の役割.....	95
	（5）社会福祉法人の役割.....	95
	（6）行政の役割.....	95
2	計画の活かし方.....	96
	（1）計画の普及・広報.....	96
	（2）計画の進行管理.....	96
	（3）計画の実効性を担保するための財源確保.....	96

資料編..... 97

1	計画策定組織.....	98
	（1）飯豊町地域福祉計画策定委員会設置要綱.....	98
	（2）飯豊町地域福祉活動計画策定委員会設置要領.....	99
	（3）委員・アドバイザー名簿.....	100
2	計画の策定経過.....	101
3	調査研究活動の概要.....	102

町長あいさつ



このたび、本町では、令和 7 年度から令和 11 年度までを計画期間とする「第 3 次飯豊町地域福祉計画」と協働して地域福祉を推進する飯豊町社会福祉協議会の「飯豊町地域福祉活動計画」を一体的に策定しました。

本計画は、第 5 次飯豊町総合計画の次に紐づく計画であり、「共につながり生きていく 孤独をつくらぬ地域づくり」をスローガンに掲げ、各分野別計画の基盤となる地域福祉を推進するための取り組みや理念、目標をはじめ、町が重点的に取り組む施策を定めています。

近年、人口減少、高齢化の進展に加え、価値観やライフスタイルの多様化に伴い、地域のつながりが変化する中で、ひきこもりや、虐待、経済的困窮など地域福祉を取り巻く様々な課題が顕在化しています。また、一つの世帯でいくつもの「困りごと」を抱えているなど、暮らしの「困りごと」は複雑化・多様化しています。

誰もが地域社会の一員として、尊重し、支え合いながら、安心して暮らしていくためには、町、社会福祉協議会、住民・団体、事業者・企業等、福祉に関わる様々な主体が力を合わせ、世代や分野を超えて、横断的につながるような「地域共生社会」の実現が求められます。

本町では、平成 26 年 3 月に飯豊町地域福祉計画を策定して以来、住民の皆様や社会福祉協議会をはじめとする様々な機関・団体などと協働して、施策を展開してまいりました。

これまで築き上げてきた成果を活かしながら、「困りごと」を抱える人々が地域で埋もれることのないように、包括的に支援する仕組みづくりや地域福祉人材の育成など、地域共生社会の実現に向けて、取り組みを推進してまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提言をいただいた本計画策定委員の方々やアドバイザーの方々をはじめ、ご協力いただきました住民の皆様並びにすべての関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和 7 年 3 月

飯豊町長 嵐 正 人

社会福祉協議会会長あいさつ



社会の構造が大きく変化している中で、社会福祉協議会の役割、業務内容は多岐にわたっています。

さらに、今日の福祉を取り巻く情勢は、孤独・孤立、生活困窮、担い手不足などの諸課題が複合化し、一層深刻化しているような状況にあります。

これまでも、本会では、2015年3月に第1次計画（平成27年度～令和元年度）、2023年3月には、第2次計画（令和2年度～令和6年度）を策定し、住民が主役、つまりは、住民主体の活動の推進に力を入れてまいりました。このたびの第3次計画（令和7年度～令和11年度）の策定にあっては、前回同様に飯豊町が策定する「第3次飯豊町地域福祉計画」と一体的に策定作業を進めるなかで、「共につながり生きていく 孤独をつくらぬ地域づくり」をスローガンに掲げ、行政施策ごとの取り組みに対し、「地域や住民が取り組む内容」を一つひとつ明確に示したものが活動計画の中心となっております。

また、「飯豊町の取り組み内容」の中にも県や町からの委託など公的制度に基づいた事業として、新たに成年後見制度に基づく後見事務や職業紹介事業など本会が担う役割が具体的に盛り込まれております。第1次、第2次における10年間の実践や実績を踏まえながら、さらなる地域福祉の推進を図っていくために、行政や住民自治組織、関係機関・福祉団体、民生委員児童委員、ボランティアをはじめ、住民の皆様と連携し多様な福祉の課題解決のため、これまで以上につながりを深めていきたいと考えています。

子どもからお年寄りまで、地域の中でつながりが失われることなく、強化していくことで私たちの生活の質は向上し、地域そのものが輝きます。さらには、人と人とのつながりを構築することで、支え合いが生まれ、誰しものが「孤立」することなく「自立」に導くことが出来ます。

社会福祉協議会は、新たなスローガンの下で、住民の誰もが頼れる先をたくさん持つことが出来る「地域共生社会」の実現を目指し、計画の推進に向けて邁進してまいりますので、住民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、ワークショップ等にご参加いただいたほか、貴重なご意見をお寄せいただきました住民の皆様や関係団体の皆様、ご協力を賜りました多くの皆様に、心よりお礼を申し上げます。

令和 7年 3月

社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会会長 高橋 弘之

委員長あいさつ



この度、第3次飯豊町地域福祉計画及び第3次飯豊町地域福祉活動計画が策定されました。この計画は2020年に策定された第2次計画に基づいた5年間の実践を検証し、その内容を踏まえて策定されたものです。

この間、社会福祉をめぐる情勢は大きく変化しており、少子高齢・人口減少、地域社会の脆弱化等の社会構造の変化の中で、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていくことができる「地域共生社会」の実現が求められています。

第3次計画では、飯豊町が厚生労働省の示すガイドラインに沿って策定する「地域福祉計画」と今後5年間、地域住民と社会福祉協議会が取り組むべき活動を提示する「地域福祉活動計画」との理念を共有し、策定を通して「住民主体」と「住民参加」の推進を図ることを大切にしてきました。

特に、本計画の実践においては、行政、社会福祉協議会と地域住民とが様々な現場での気づきをお互いに投げかけ、住民と共有し合い、課題解決に向けた機運を高めていくことが重要だと感じます。

この第3次計画は、まさにその「道しるべ」となるものです。これまでの経験を通じて、目を出し、花を咲かせている項目もあれば、その展開が思うように進んでいないものもあります。また、時代の変化によっても自動的に求められる新しい役割もあります。行政、社会福祉協議会、関係者、住民の皆様が一致協力することで、飯豊町で求められる様々な地域福祉活動が発展し、地域福祉の推進に向けた大きな原動力となっていくことを切に期待して、ご挨拶といたします。

最後になりましたが、この度の計画策定のために熱心にご尽力くださった委員、アドバイザーの皆様、ご協力いただいた地域・関係団体の皆様に心より深く感謝申し上げます。

令和 7年 3月

第3次飯豊町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会
委員長 嘉藤 正憲